



理科実験用ガスコンロ 点検をしてください

こんな症状になってはいませんか

- ▶ 火がつかない！つきにくい！ ▶ 目詰まりおこしている！

！バーナーヘッドの目詰まり、酷いサビ

- 点火不良：点火装置の故障、電極から火花が飛ばない等
 - 燃焼不良：燃焼しない、異常臭、赤火、不揃いの炎等
- ノズル詰まりにより、銅パイプ、混合管の交換が必要です。



！Oリング (ゴムパッキン) の経年劣化

「Oリング」は使用頻度に関わらず劣化します。ひび割れや変形をし、ガス漏れなどの原因になります。また本体のサビ、変形などの劣化にもご注意ください。



ガスポンベ装着部

！ 器具栓つまミが回らない

！ ガスボンベがセットできない

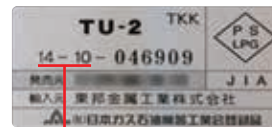
.....以上の症状がでたら、買い替えをお勧めします.....

製造年月をご確認ください

製造年月表示シール すべてのカセット式ガスコンロに共通です。



2002年1月に製造



2014年10月に製造



ガスコンロは年月が経つと部品の劣化 (ゴムパッキン等) により、ガス漏れなどの危険性が出てきます。安全にご使用いただくためには使用頻度に関わらず、製造から **10年を目安**に買い替えを検討してください。ガスコンロには製造年月の表示シールが貼られていますのでご確認ください。



10年を目安に買い替えをお勧めします



理科教育を支援する
公益社団法人 日本理科教育振興協会

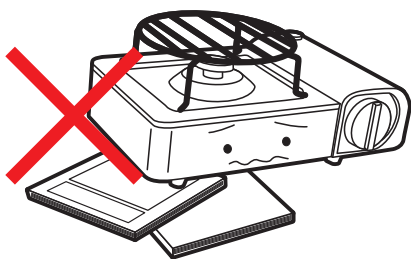
理科実験用ガスコンロを使う時の注意

使う前に確認すること

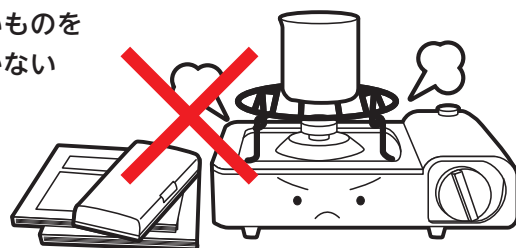
- ガスポンベの切り込み (凹凸) を合わせて正しく取りつける



- 平らな場所に置く



- 燃えやすいものを近くに置かない



- ガスポンベをたたいたり落としたりしない



- ごとくより大きい金あみを使わない

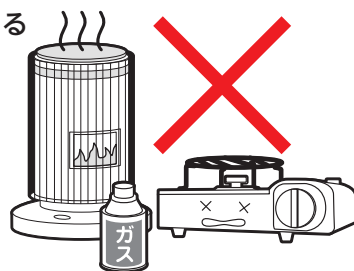


実験中の注意点

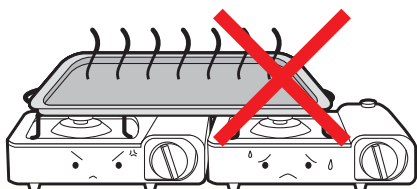
- 燃焼実験中は窓をあけて換気をおこなう
変なおいがしたらすぐにガスポンベをはずす



- 暖房機のそばや高温になる場所に置かない



- 2台以上のコンロを並べて使用しない

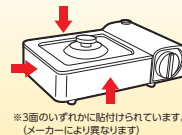


- 使用しないときはガスポンベははずす

※ポンベの取りはずしは、先生の指導にしたがってください。

ご指導の先生へ

- コンロ使用後は、ポンベを取り外し、キャップをはめ、風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
 - ご使用されている理科実験用ガスコンロの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
 - コンロも経年劣化します。古いコンロ(10年が目安)を使用している場合、ガス漏れなどの事故が発生する危険性がありますので、本体に表示されている製造年月を確認してください。
- ※一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 ホームページより引用



製造年月の表示例

13.12-A0000000
XXXXXXXX 株式会社○○○
製造年月 西暦年 西暦月 西暦日

製造年月の視方
13.12
西暦 年 西暦 月
下二桁



理科教育を支援する
公益社団法人 日本理科教育振興協会